Dory

DP5343-05a-MG

NEXO Dory

USBソフトウェア経由のリモートコントロール

v2.05用ユーザーガイド（macOS、WindowsおよびAndroid用）

NEXO Doryをダウンロードいただきありがとうございます。本マニュアルはアプリの機能と使用方法を手順を追って説明します。

プレゼンテーション

Doryは、USBコントロールポートを搭載したNEXO機器用のリモートコントロールソフトウェアです。本書の執筆時において、Doryと互換性のあるNEXO機器はDigital TDcontroller（DTD）のみです。

互換性

NEXO Dory v2.05は、以下のバージョンに対応しています。

- macOS 10.12 Sierra以降
- Windows 7.0以降
- Android 5.0 Lollipop（API 21）以降

v2.05の更新情報

- P8とP10の設定を新たに追加しました。
- テキストフィールドを編集した後の予期せぬ移動に関するバグを修正しました。
- その他の改善とバグ修正を行ないました。

Dory v2.02

- P12とL15の設定を新たに追加しました。
- キーボードによる移動（上、下、戻る、など）を追加しました。
- EQビューを改善しました（バンド削除のショートカットを追加、コピー/貼り付けのバグを修正）。
- クイックスタートとヘルプのメニューを新たに追加しました。
- その他の改善とバグ修正を行ないました。

Dory v2.01

- NXAMPプロセッシングに合わせてスピーカープロセッシングを最適化
- センスケーブルの問題を検知および回避するよう、アンプセンスコントロールを最適化
- アナログ入力またはAES入力（ゲインおよびディレイ関連）を使用するときのNXAMPとDTD間の互換性を最適化しました。
- *要件: ディレイへの互換性が必要な場合、手動でNXAMPに0.14メートルのディレイを加える必要があります。*

- Doryからスピーカーへのロードが迅速化（Dory 1.12と比較）。
- -60dBFSまでの範囲の新しいコンプレッサースレッショルド。
- 各出力のディレイが最大190msに。
- 各指向特性に対するID24セットアップ（Main、Front、Monitor、およびLounge）を新たに追加しました。
- 新しいGeoM10セットアップ（1台、2～3台、スタックモニター用）。
- 新しいMSUB15セットアップ（無指向性およびスタックモニター用）。
- M6Bセットアップ、「Sub」チャンネルにロード可能。
- 2.01でDoryのDTDがアップデートされた以降は、NeMoを使用したネットワーク全体のリモートコントロールが使用可能になりました。

プレゼンテーション 2
互換性 2
v2.05の更新情報 2
DoryとDTDの機能 5
スピーカーおよびサブの選択 5
ハードウェアモードまたはソフトウェアモードでのDTDの使用 7
Doryのインストール 9
DTDとDoryの接続 10
Doryの使用 11
DTDファームウェアのアップグレード 11
スピーカーセットアップの変更 12
DTDパラメーターの変更 14

DORYとDTDの機能

DTDは外部リモートコントロールソフトウェアなしでも使用できますが、適切なスピーカーセットアップを選択するために、少なくとも1回はDoryを実行しているコンピューターにDTDを接続する必要があります。

DTDは、フロントパネルにコンピューター接続用のmini-USBポートを備えています。

スピーカーおよびサブの選択

Dory v2.05で使用可能なスピーカーセットアップは以下のとおりです。

Flatスピーカープリセット

- EQおよびプロテクションなしのFlatプリセット

ID Series（FOH用途向けの「Main」モード）

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

ID Series（フロントフィル用途向けの「Front」モード）

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

ID Series（モニター用途向けの「Monitor」モード）

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

ID Series（ラウンジ用途向けの「Lounge」モード）

- ID24 90x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x40、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 60x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー
- ID24 120x60、95 / 120 / 150Hzクロスオーバー

Plus P Series

- P12 60x60パッシブモニターまたはメイン、60 / 85Hzクロスオーバー
- P12 90x40パッシブモニターまたはメイン、60 / 85Hzクロスオーバー
- P12 Psパッシブモニターまたはメイン、60 / 85Hzクロスオーバー

PS Series

- PS8、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- PS10R2、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- PS15R2、50 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- Ps10（第1世代）、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- Ps15（第1世代、パッシブモード）、50 / 85 / 120Hzクロスオーバー

GeoM6 Series

- GeoM6（x1スタンドアローン）、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM6（x2～x3クラスター）、70 / 85 / 120Hzクロスオーバー

GeoM10 Series

- GeoM10（x1スタンドアローン）、63 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM10（x2～x3クラスター）、63 / 75 / 85 / 95 / 120Hzクロスオーバー
- GeoM10（スタックモニター）、63 / 75 / 85Hzクロスオーバー

Dory v2.05で使用可能なサブセットアップまたはバスキャビネットセットアップは以下のとおりです。

Generic Sub

- 40～85Hzクロスオーバー、プロテクションなしのGeneric Subプリセット

IDS Series

- IDS110、40～85 / 40～120Hzクロスオーバー

Plus L Series

- L15モニター、40～120Hzクロスオーバー

- L15フロント/オムニ、40～85 / 40～120Hzクロスオーバー

LS Series

- LS400、40～85 / 40～120 / 60～120Hzクロスオーバー
- LS600、40～85 / 40～120 / 60～120Hzクロスオーバー
- LS18、35～85 / 35～120Hzクロスオーバー
- LS500、35～85 / 35～120Hzクロスオーバー
- LS1200、35～85 / 35～120Hzクロスオーバー

GeoM6 Series

- GeoM6B（x1スタンドアローン）、70～180 / 85～180Hzクロスオーバー

MSUB15 Series

- MSUB15無指向性セットアップ、40～63 / 40～75 / 40～85 / 40～95 / 40～120Hzクロスオーバー

ハードウェアモードまたはソフトウェアモードでのDTDの使用

セットアップをDTDにダウンロードしたら、DTDをハードウェアモード（コンピューターなし）で使用できるようになります。そのためには、フロントパネルスイッチを(「WB」)または(「XO」)ポジションに設定します。

広帯域

スイッチが(「WB」)（広帯域）ポジションにある場合:

- メインキャビネットの帯域は最大になります。
- サブキャビネットのクロスオーバー値はデフォルト値になります。

この場合、メインとサブ間のオーバーラップによって、低域の出力が上がりますが、メインスピーカーからの最大の音圧レベルが制限されます。

クロスオーバー

スイッチが「XO」（クロスオーバー）ポジションにある場合:

- メインキャビネットのクロスオーバー値はデフォルト値になります。
- サブキャビネットのクロスオーバーポジションはデフォルト値になります。

これらのポジションでは、クロスオーバーポイントを除くDTD内部のすべての設定はデフォルト値に設定されます。ただし、フロントパネルのノブを使用して、サブとメインのゲインを調節できます。

ユーザー

この場合、DTD内部のすべてのパラメーター（Input patch、Gain、Delay、User EQ、User compressorなど）を調節できます。**ゲインは、フロントパネルのノブとソフトウェアのどちらを使用しても調節できます。**

DORYのインストール

Doryはマルチプラットフォームソフトウェアとして開発されており、WindowsまたはmacOSで稼働するコンピューター、およびAndroidで稼働するモバイルデバイスまたはタブレットデバイスで実行できます。

Dory v1.12以降では、新しいバージョンが入手可能になると通知が表示されます（インターネットへの接続が必要です）。

Windows版

インストーラーをNEXOウェブサイトからダウンロードしてください。

Windows で稼働するコンピューターで、インストーラーファイルNEXO_DorySetup_x64_2.05.exeをダブルクリックしてDoryをインストールします。

エラーメッセージなしでインストールが完了したら、Doryを使用できます。

Mac版

インストーラーをNEXOウェブサイトからダウンロードしてください。

macOS で稼働するコンピューターで、インストーラーファイルDory_2.05.dmgをダブルクリックしてDoryをインストールします。

エラーメッセージなしでインストールが完了したら、Doryを使用できます。

Android版

Google Playにアクセスし、「Dory」を検索してください。認証要求を承認し、アプリをダウンロードします。

Doryをインストールするには、AndroidデバイスがOTGに対応している必要があります。お使いのAndroidがOTGに対応しているかは、インターネットで確認してください。

DTDとDORYの接続

DTDとDoryを接続するには:

1. DTDの電源プラグを接続し、DTDの電源を入れます。
2. DTD付属のmini-USBケーブルを、コンピューターの空きUSBポートに接続します。

Androidで以下の操作を実行します。

3. OTGケーブルを使用してAndroidをDTDに接続します。その後、承認要求を承認し、DTDにアクセスします。

   一度起動すると、次回からはDTDに接続するだけでDoryが自動的に起動します。

macOSの場合:

3. アプリケーションフォルダーのDoryのアイコンをダブルクリックします。

Windowsの場合:

3. 必要なドライバーがインストールされるまで待ちます。DTDはWindowsにプリインストールされたドライバーのみを使用するため、特別なドライバーのダウンロードは不要です。
4. Windowsでハードウェアのインストールが正常に行なわれた旨のメッセージが表示されたら、「スタート」メニューのショートカットまたは検索バーからDoryを起動できます。

DORYの使用

DTDファームウェアのアップグレード

Doryがコンピューターの USBポート上にDTDを検出すると、まず機器のファームウェアバージョンを確認します。DTD内部のファームウェアがDoryに組み込まれたファームウェアと異なる場合、以下のメッセージが表示されます。

[「Update DTD」]をクリックすると、機器が再起動され、Doryから機器への新しいファームウェアのアップロードが開始されます。

ファームウェアがアップロードされると、Doryのメインビューに現在のスピーカーのセットアップが表示されます。セットアップを選択していた場合、ファームウェアの更新後にそのセットアップが再度読み込まれます。スピーカーのセットアップが定義されていなかった場合、デフォルトで(「Flat」)スピーカーモードがデフォルトスピーカーのアイコンで表示されます。

スピーカーセットアップの変更

スピーカーセットアップはメインとサブで別々に変更できます。つまり、メインスピーカー（ステレオ）とサブスピーカー（モノラル）の任意の組み合わせが可能です。ただし、メインの左と右で別々のスピーカーに出力することはできません。

デフォルトのFLATセットアップは、デフォルトのSUBセットアップと併せてのみ使用できます。

スピーカーアイコンをクリックしてスピーカープリセット画面を開き、[「Change」]を選択します。

センタースピーカーから左右にスワイプして他のプリセットにアクセスし、選択したら[「OK」]を押します。DoryによりスピーカープリセットがDTDの内部メモリーにアップロードされます。

次に、選択肢のリストからクロスオーバーを選択できます（フロントパネルのスイッチが(「USER」)ポジションになっているかを確認してください。それ以外のポジションの場合、この機能は読み取り専用になります）。

スピーカーセットアップが呼び出されたら、ソフトウェアを閉じてDTDをハードウェア

モードでスタンドアローン機器として使用するか、引き続きソフトウェアモードで機器の設定を行なえます。

DTDパラメーターの変更

デフォルトページ

Doryのデフォルトビューでは、出力レベルの表示メーターと選択したスピーカーを確認できます。他の3つのページには、画面上部のDTD名の横にあるボタン（下図で囲まれた箇所）をクリックして移動できます。

「Inputs and patching」ページ

最初のボタンをクリックすると、入力設定のページが開きます。

このページでは、以下の調節を行なえます。

- すべての入力の**入力メーター**（DTDはWindowsでUSBサウンドカードとしても検出されるため、「Digital L/R」はUSBオーディオ入力を表わします。Dante入力の場合は以下を参照してください）。
- 物理入力から内部のL/Rプロセッシングチャンネルへの**入力パッチ**。

- **User EQ**（ステレオ8バンドフルパラメトリックEQ）。[「Link Eq」]を使用すると両方のチャンネルを編集できます。
- USBとDanteからデジタルソースを選択するための**デジタルスイッチ**（Dante版のみ）。

「Processing and outputs」ページ

2番めのボタンをクリックすると「Processing and outputs」ページが開きます。このページでは3つの出力設定を行なえます。

- **スピーカータイプ**と**クロスオーバー**の調整。
- -18dB～+18dBでの**ゲイン**。
- **フロントパネルゲイン**、フロントパネルノブのリードバック（DTD-Tモデルの場合）。
- **ユーザーディレイ**（ms、m、またはft）（単位をクリックして変更）。
- **PEプロセッシングチャンネルから出力へのパッチ**、出力ごとにL/Rまたは（L+R）を選択。「L+R」を選択すると、自動的に-6dBのゲインが内部的に適用されます。
- **ユーザーコンプレッサー。**このコンプレッサーを設定すると、NEXOの内部プロテ

クションより優先される形で出力レベルを制限できます（たとえば、スピーカーの出力レベルを特定の音圧レベルに制限します）。

ゲイン、ディレイ、およびユーザーコンプレッサーには、画面の一番下にある丸い選択ボタンを使用して、複数のチャンネルでパラメーターを同時に調節できます。必要に応じて、選択ボタンの横にある[「Abs/Rel」]スイッチを切り替えます。

「Settings」ページ

3番めのボタンをクリックすると、設定ページが開きます。

- **「Lock device」**機能を使用すると、PINコードで機器をロックできます。このコードは、機器の設定を編集する前に入力が求められます。
- 機能の詳細については、**「Tutorial」**を確認してください。
- **「Automatically look for software updates」**をオンにすると、新しいバージョンのリリースが通知されます。

フィードバックおよびバグ報告: technical@nexo.fr.ご協力いただきありがとうございます。

デバイス、本ソフトウェア、およびマニュアルの不適切な使用により生じた損害について、NEXO SAは責任を負わないものとします。

本ソフトウェアおよびマニュアルに対しては、NEXO SAが独占的な著作権を所有しています。NEXO SAの書面による同意がない限り、ソフトウェアまたはそのマニュアルのコピーおよび複製は、一部のみであっても禁止されています。

本ドキュメントに表示されるスクリーンショットは、対象となる言語とバージョンによって異なる場合があります。

Appleは、米国およびその他の国々におけるApple Inc.の登録商標です。Google PlayストアおよびAndroidはGoogle Inc.の登録商標です。DanteおよびDanteロゴはAudinate Pty Ltdの商標です。WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

NEXO SA
PARC D'ACTIVITE DE LA DAME JEANNE
F-60128 PLAILLY

Phone: +33 3 44 99 00 70
Fax: +33 3 44 99 00 30

Email: info@nexo.fr
Web site: www.nexo-sa.com